

2011年11月研究会（中部地区）

日 時：2011年11月6日（日曜）15:00～17:30
会 場：名古屋商科大学大学院 伏見キャンパス 3階講堂
講演者：中北 智久（中北薬品株式会社 代表取締役会長）
演 題：「享保11年（1726年）創業 家業からの革新」
研究報告：齋藤 孝一（名古屋商科大学大学院教授）
報告内容：「一澤帆布工業事件に関する法学的研究」
司 会：小橋 哲（名古屋商科大学大学院研究科長、本学会理事）
主 催：一般社団法人事業承継学会（中部地区）

講師プロフィール

中北 智久（なかきた ともひさ）

昭和6年愛知県生まれ。昭和29年明治薬科大学卒業。
昭和33年早稲田大学大学院商学研究科経営経済修士課程修了。
同年中北薬品株式会社入社。昭和46年代表取締役社長就任。
平成16年より代表取締役会長。
業界歴は、昭和55年愛知県医薬品卸協同組合理事長就任。
平成5年社団法人日本医薬品卸業連合会副会長就任。
平成14年勲四等旭日小綬章受章。薬剤師。



<講演要旨>

記念講演は、中北薬品株式会社 代表取締役会長 中北 智久 氏を迎え、「享保11年（1726年）創業 家業からの革新」と題し、初代から約300年続く会社の歴史のほか、中北氏自身の学生時代から入社・社長就任・承継までのエピソードを披露いただきました。経営者として心がけておくこととして、税法に強くなること。また、特に重要なこととして代表取締役の取り締まりをする存在が必要であることなど、貴重な経験をもとにご講演いただきました。質疑応答には、現社長の 中北 馨介 氏 もご登場いただき、事業を承継される立場から感じた親族承継独特の苦労や心情をエピソードに添えて語っていただき、大いに盛り上がりました。

研究報告は、名古屋商科大学大学院 齋藤 孝一 教授が、株式の承継のために有効な対策方法を民法、会社法、信託法の3つの観点から検証・提案し、経営権のスムーズな承継や 承継者以外の遺留分問題まで、生前のうちに対策をしておくことが大切であることを訴えました。

その後の懇親会も大盛況のうちに終了し、多くの方からお祝いのお言葉を頂戴いたしました。

研究会参加者：約100名